

(臨床研究に関するお知らせ)

2019年2月1日～12月31日の期間中に社会医療法人愛仁会高槻病院にご入院中またはご入院される患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院看護部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や看護師の業務量・内容を観察調査し分析的研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

病棟構造を活かした「より患者さまに寄り添うことができる」看護体制の検討
～患者対応可視化システム（以下ビーコン）使用による効果の検証～

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院看護部 副看護部長 太田 圭子

3. 研究の目的

ビーコン（発信機）を使用し、一看護師がいつ・どの患者に・どの程度の時間対応できたか、を任意の病棟・看護師・日数で収集する。また、患者ごとの対応時間や看護師の動線を可視化し、効果的な看護体制や課題を明らかにする。さらに精度の高いデータベースを構築し分析を行うことで「より患者さまに寄り添うことができる病棟」の実現への示唆をえることを目的とする。

（ビーコン（発信機）による院内の医療機器や患者への影響はないことを事前に確認している）

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2019年2月1日～12月31日の期間中に、高槻病院に入院しておられる患者

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、診療科、病名、「重症度、医療・看護必要度」評価点数（手術を受けておられる方はその手術術式）、病室番号・ベッドの位置番号、です。

(3) 方法

- ・電子カルテに記録されている上記情報を匿名化して抽出し、病棟構造図に落とし込み、看護師の動線や業務調査結果と併せてシミュレーションを行います
- ・本研究は、株式会社大林組および千葉大学大学院工学研究科との共同研究として行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院看護部 副看護部長 太田 圭子

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : m.ueda@ajk.takatsuki-hp.or.jp